

超大型ロボット MGシリーズ



2026
 Kawasaki
 Ecological Frontiers
A class

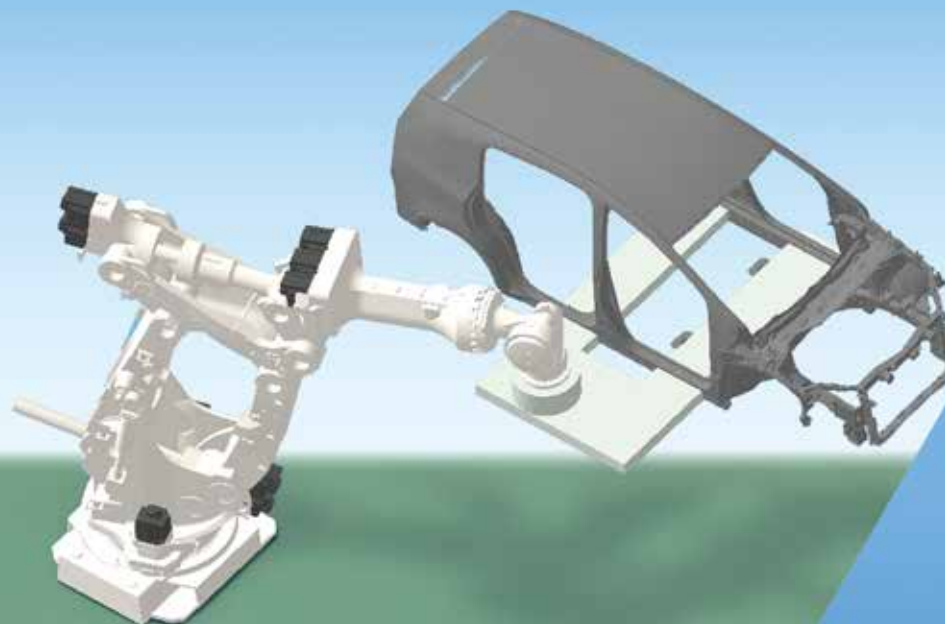
2017年：初回登録

川崎重工業株式会社

可搬質量1トン超のクラスにおいて業界標準を超える軽量化を実現

ハイブリッドリンクと一部にボールネジ駆動を採用した
 独自構造のアームはカウンターウェイトレスで1~1.5t
 の可搬能力と本体軽量化を両立

	MG15HL	競合他社
最大可搬質量 (kg)	1,500	1,200
最大リーチ (mm)	4,005	3,734
本体質量 (kg)	6,550	8,600



製品紹介

独自構造（第1軸に2減速機並列機構、第2~3軸にボールネジ機構）により、
 高剛性化と高精度化を図った可搬質量1~1.5tの超大型ロボット

特長

- ハイブリッドリンク機構とデュアルサーボを採用し、1t超可搬を実現
- 剛性が高く、ガタつきの小さいボールネジの採用で、アームのたわみを低減し、高い位置決め精度を実現
- ハイブリッドリンク機構とカウンターウェイトレスのアームは実用領域で広い動作範囲を実現